

次に、この発酵食品利用での肝障害以外の私の数々の体験実例を列記します。

☆便通の改善

透析者は、無尿により、非常に水分制限が厳しいため、ほとんどの方が便通の悩みを抱えています。

そのため、下剤に頼らざるを得ないのが現実ですが、私の場合は、このパバイヤ発酵食品のお陰で、まったく下剤なしでも理想的な便通の毎日です。

☆腹痛、下痢などでの薬剤なしでの改善

透析者は、抵抗力が落ちていたため、ときどき、下痢や腹痛に見舞われることがありますが、まったく薬剤に頼ることなく、この食品のみでこれらの症状が治まり、すぐに食事ができるようになります。(毎回、このような結果が出て、これには家内も子供たちも驚いています)

☆抵抗力の向上(風邪をまったくひかなくなつた)

この10数年、透析をするも、風邪で困つたような記憶がなく、むしろ健常者に負けないくらいです。

☆透析の合併症と思われる関節などの痛みの緩和

特に、透析の終わった日は関節にうずくような痛みが出てくることがありますが、このパバイヤ発酵食品を食べていると、この症状が和らぎ、今のところ医者薬は処方していません。

☆放射線被曝影響の回避

透析者は、透析を受けている限り、毎月1回、胸の直接レントゲンがあります。

私の場合でも、月に1回×12回/年×16年＝192回。

何と、16年間に192回の放射線を浴びているのです。

透析患者は、そうでなくとも、ガンにかかる割合が、健常者の2から3倍程度高いという会報誌などの発表もありますが、私の場合は、これらの放射線から発生する活性酸素の影響を少しでも回避するため、レントゲンを撮影した日は、必ず、このパバイヤ発酵食品を多めに利用するようにしています。

そして、この項の最後に、私の体験から、驚愕の事実をお話します。